

宮城県栗原市 栗原文化会館（アポロプラザ）様 - ホール音響設備

フルデジタル化によって音質と操作性が向上した最新のホール音響設備を導入

最新のホール音響設備が導入された栗原文化会館（アポロプラザ）様 大ホール



宮城県栗原市は宮城県北西部に位置する宮城県最大の面積を持つ地方自治体で、栗駒山を含む栗駒山地は栗駒国定公園に指定されています。市内中心部には、東北新幹線のくりこま高原駅があり、その他にも東北本線が通り、東北自動車道築館インターチェンジ・若柳金成インターチェンジの二つのインターチェンジを有しています。また国道4号線が南北に、国道398号線が東西に走るなど、交通の要所としても知られています。

今回、新たなホール音響設備を導入された栗原市築館にある栗原文化会館（アポロプラザ）様は、座席数1,000席の大ホールの他、展示室、資料室、会議室などを有する文化施設で、地域の方々が音楽などの芸術を鑑賞したり自らの創作や発表活動を行う場として、地域の文化活動へ大きな役割を果たしています。

概要と特長

今回栗原文化会館様では、大ホール音響設備の老朽化に伴い、最新のホール音響設備を導入されました。

最大の改修のポイントは、「オーディオ信号のデジタル伝送化」に対応した点です。

そのため、現在の設備音響のデジタル伝送方式の業界標準である「Dante Audio Network」を採用したRAMSAブランドの最新の設備向けPA機器「Auditorium Series」をベースとしたシステムを導入されました。RAMSA デジタル・コンソール WR-DX400 を中心として、音の入口から出口までがフルデジタルで伝送できるようになったことから、自由度の高いシステム構築が可能となり、また、アナログ信号の長距離伝送で見られたような音質劣化やノイズ混入が起こらないため、ステージ上の生演奏やスピーチ等の様々なソースを高品位な音質で拡声することが可能になりました。

また、ネットワークの伝送路を2重化することにより、開演中に断線や機器のトラブルが発生しても、音切れやノイズを発生させることなくネットワークを切り替えることが可能になっています。

次のポイントはデジタル化によって操作性が大幅に向上した点です。フルデジタル化により各機器の制御・監視はネットワークを介して行うようになったため、

- ・デジタル・コンソール(オーディオミキサー)の設定・データ保存
- ・デジタルプロセッサの設定(イコライザーやディレイ調整)
- ・スピーカプロセッサの設定、調整

などの操作が、調整室内の制御用パソコンで簡単に一括管理できるようになりました。またタブレットを用いた遠隔操作での設定、調整も可能になったので、客席内の各所で、実際にお客様が聴く音の状態を確認しながら作業を進めることが可能になりました。

栗原文化会館様のように様々な種類のイベントのオペレーションが必要となるホールでは、デジタル化によって操作性が向上したことによって、仕込みから本番までスピーディーな対応が可能となり日々の作業の軽減化に貢献しています。



調整室に導入されたRAMSA デジタル・コンソール WR-DX400



舞台袖ミキサーワゴンとはDanteでデジタル伝送



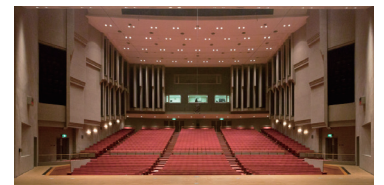
効果機器卓に設置されたデジタルミキサー操作ユニット WR-PU100



宮城県栗原市 栗原文化会館



栗原文化会館 大ホールロビー



舞台側から見た大ホール



デジタル化によりコンパクトになった電力増幅架(左)と入力パッチ架(右)



デジタルプロセッサの設定を行う制御用パソコン



タブレットを用いて客席エリアでデジタルコンソール(オーディオミキサー)を操作

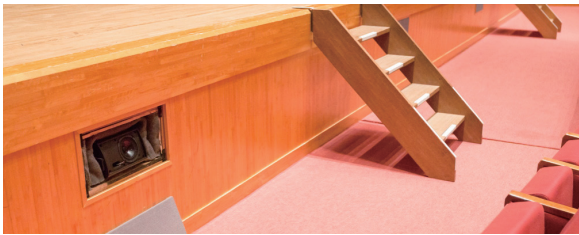


デジタル化されてスッキリした舞台袖音響パッチ盤

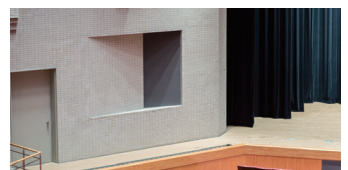
加えてホール内既存のスピーカー設備を刷新した点も大きなポイントです。今回の改修ではプロセニアムスピーカー、プロセニアムサイドスピーカー共に、デジタル時代の設備用音響スピーカーとして新たに設計された RAMSA スピーカーシリーズを導入することで、各席の全エリアに於いて必要な音圧と明瞭で臨場感のあるリスニングが可能になりました。スピーカーの設置に際しては、綿密な位置・角度調整を行ったため、最終的にはホール内各場所での音圧分布レベル差 ±6 以内という均一性が確保されました。そのため場所を選ばず、どの客席に於いても高品位でバランスの取れた聴取が可能となりました。特に音の明瞭度が上がり、どの場所においてもスピーチの内容が聴き取りやすいホール音響が生まれました。



プロセニアム上部スピーカーは38cm 2ウェイのWS-HP400を4台設置



4台のステージフロントスピーカー、ステージフロントスピーカーには12cmコーンWS-M10T-Kを使用



プロセニアムサイドスピーカーにもWS-HP400を4台設置

その他にも多数のワイヤレスマイクロホンも新たに導入し、合わせて三点吊マイク装置を電動化するなど、既設機器の老朽化対策も視野に入れた安全性確保やオペレーションの効率化を図った改修を施しました。



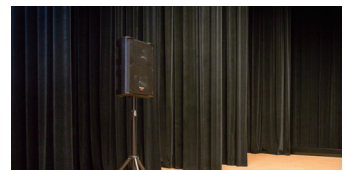
目的に応じて用意されたワイヤレスマイクロホン



昇降が電動化された三点吊マイク



他のスピーカー同様、プロセニアムサイドスピーカーも正確な位置調整(高さ、向き)を施している



可動式のステージスピーカーは30cm 2ウェイのWS-AR200-Kを4台導入

お客様の声

栗原文化会館は地域の皆さまに手軽に一流の文化芸術に触れていただくことと、そして皆さまの発表の場としての活動を続けています。それを活性化する上でも、開館以来 30 年となる当ホールにおいて、まずは音響設備の改修を目指しました。今回、最新のホール音響設備を導入できたことによって、音質が良くなった事に加えて、機器の操作性も上がりました。そこでこれからはアーティストの公演を聴きに来ていただくだけでなく、地域の方々が一緒に参加してプロのアーティストとコラボレーションするような企画にも利用していきたいと思っています。



栗原市教育委員会 栗原文化会館
主幹兼館長 菅原初男様

主な納入機器

- 音響調整卓 コンソール型デジタルミキサー WR-DX400 x 1、16ch入出力Danteカード WR-PC001 x 2 ●効果機器卓 デジタルミキサー操作ユニット WR-PU100 x 1 ●入出力パッチ架 ワイヤレス受信機 WX-R822 x 3、ワイヤレス混合分配器 WX-R901 x 1、ラックマウント型デジタルミキサー WR-DX100 x 1、16ch入出力Danteカード WR-PC001 x 1 ●電力増幅架 デジタルプロセッサ Q-SYS CORE 5001 x 1、デジタルパワーアンプ (360W×4ch) WP-DN360 x 3、パワーアンプ (Hi-Z/120W×2) WP-H122 x 3 ●プロセニアムスピーカー-38cm 2ウェイスピーカー WS-HP400 x 4 ●プロセニアムサイドスピーカー-38cm 2ウェイスピーカーWS-HP400 x 4 ●ステージフロントスピーカー 12cmコーン形スピーカー (TR内蔵) WS-M10T-K x 4 ●ウォール効果スピーカー フルレンジスピーカーユニット FF225WK x 6 ●ステージスピーカー 30cm 2ウェイスピーカー (ブラック) WS-AR200-K x 4、FBスピーカー WS-AR080-K x 2 ●マイクロホン類 ワイヤレスマイクロホン WX-TB816-K x 2、ワイヤレスマイクロホン (コンデンサー型) WX-TB821-S x 2、ツーピースワイヤレスマイクロホン WX-TB841 x 2、可搬B型ワイヤレスアンテナ WX-RB922 x 4

お問い合わせは 〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目21番1号 汐留浜離宮ビル

パナソニック システムお客様ご相談センター
パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

0120-878-410 受付: 9時~17時30分 (土・日・祝祭日は受付のみ)
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。(お問い合わせの内容によっては担当窓口をご案内する場合がございます)

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

- 製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
- 本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。
- 実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。

SSJ-JJ4D701-21

発行: 2017.11